



Asian Productivity Organization “The APO in the News”

Name of publication: Nikkan Sangyo Shimbun (14 February 2017, Japan)

Page: 4

**APO 緑の生産性諮問委
越エコプロ国際展
準備状況など説明**
都内で会合

アジア生産性機構（GPAO、会長馬田一・JFEホールディングス相談役）の第15回会合をリーガルロイヤルホテル東京（東京都新宿区）で開催し、38人が出席した。2016年6月にタイ・バンコクで開催された第10回エコプロダクツ国際展（EPIF2016）の報告をはじめ、17年5月にベトナム・ホーチミンで開催される第11回エコプロダクツ国際展（EPIF2017）の準備状況などを説明した。

パリ協定の下、脱炭素社会の実現に向けて世界が走り出しているが、この鍵となる省エネルギーの推進、再生可能エネルギーの利用拡大は地球環境問題の解決のみならず、関連投資の拡大を通じ、新たな成長の原動力になる。APO加盟国であるアジア諸国は急速な経済成長を続ける一方、これに伴うエネルギー使用の拡大によって、環境への負荷が増大し、大きな問題になっている。これに対応するには、世界最高水準の環境技術を持つ我が国が大きく貢献することが期待されており、パリ協定を待たず、発展の新たな貢献の機会として積極的に捉えることが重要になる。APOは94年から生産性向上と環境保全の両立を自指し、緑の生産性事業を立ち上げて、これまで数多くの成果をあげてきた。世界全体が環境問題の解決に力を合わせて取り組もうとしている現在、この事業の重要性はますます高まっており、本委員会としても引き続き支援していきたい」と述べた。

続いて、GPAO新副会長として、山本正巳・富士通会長、武馬吉則・花王エグゼクティブ・フェローが紹介された。会合ではこのほか、EPIF2017に関する日本側の取り組みが報告されたほか、ベトナム生産性本部のクエン・アン・トゥアン事務局長らが現地での準備状況を説明。またGPAOが会合に出席した企業に対して、EPIF2017への参加を呼び掛けた。

あいさつする馬田会長（中央）



「昨年11月に発効した